

# 大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2021年 第28週（7月12日～7月18日）

## 今週のコメント

～新しい生活様式の実践～ 手洗い、マスク着用、身体的距離の確保、密閉・密集・密接の回避が重要

### 定点把握感染症

「RSウイルス感染症 再増加」

第28週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は1,681例であり、前週比13.7%増であった。

定点あたり報告数の第1位はRSウイルス感染症で以下、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、突発性発しんの順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ3.95、2.92、0.48、0.45、0.34である。

RSウイルス感染症は前週比32%増の779例で、南河内11.00、北河内5.62、大阪市西部4.00、中河内3.75、泉州3.21であった。

感染性胃腸炎は1%減の575例で、北河内4.27、中河内4.05、南河内3.69である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は9%増の95例で、大阪市南部0.83、北河内0.77、南河内0.75であった。

咽頭結膜熱は33%増の88例で、泉州0.95、南河内0.88、大阪市西部0.80である。

RSウイルス感染症

感染性胃腸炎

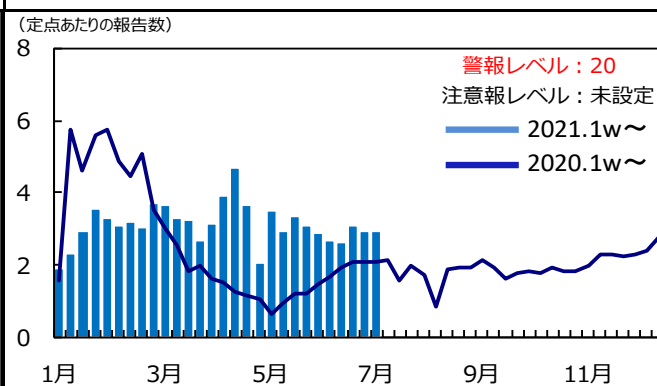
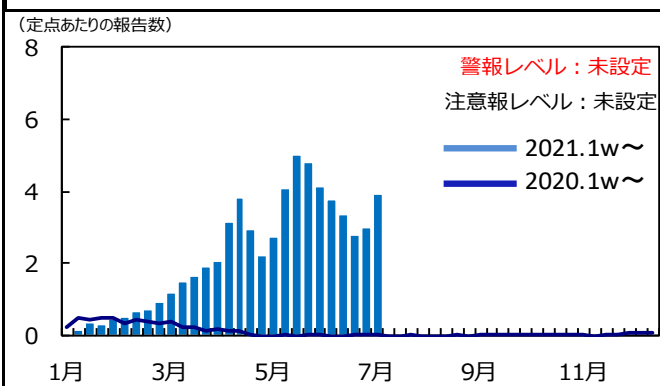


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2021年 第28週7月12日～7月18日）

第28週の順位	第27週の順位	感染症	2021年 第28週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2020年 第28週の 定点あたり 報告数	2021年第28週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	RSウイルス感染症	3.95	32%増	0.01	1歳_26%
2	2	感染性胃腸炎	2.92	1%減	2.09	1歳_17%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.48	9%増	0.67	3歳_19%
4	5	咽頭結膜熱	0.45	33%増	0.13	1歳_45%
5	4	突発性発しん	0.34	17%減	0.55	1歳_48%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。2021年第10週まででインフルエンザのコメントを終了しました。

## 第28週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～

基本的な予防の徹底を

(マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避)

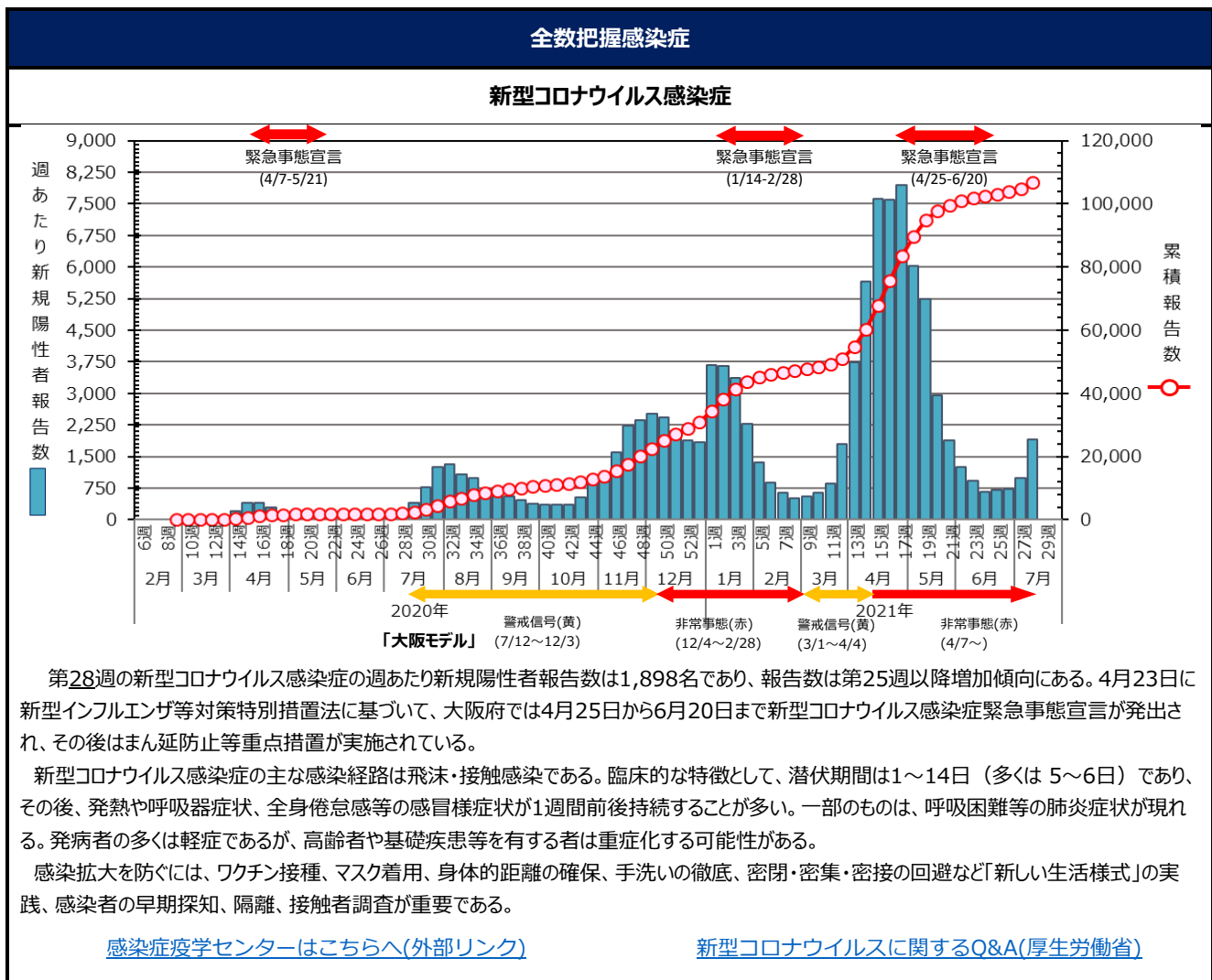


表2. 大阪府全数報告数（2021年 第28週7月12日～7月18日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります

(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】発生動向調査>全数報告 をご覧ください。)

	疾患名 ( ) 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3	1			1				1	49
4類感染症	A型肝炎	1	1								2
	レジオネラ症(肺炎型)	3	1		1		1				53
5類感染症	アメーバ赤痢	1								1	23
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4				1		2	1		91
	クロイツフェルト・ヤコブ病(古典型)	1			1						8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				1					21
	侵襲性肺炎球菌感染症	1								1	53
	梅毒	6								1	370
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1								1	15
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	1,898	2020年1月以降累計 106,746								
結核 (2021年5月分)	結核 新登録患者数：58名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 24名) (府内累積報告数 393名、内 肺・喀痰塗抹陽性 131名)										

(2021年7月20日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

[詳細はリンク先の『11月1日まで』と『11月2日以降』をご覧ください。](#)